

インフラの整備のロードマップ

進んでいない日本の医療情報インフラ

政府のIT戦略の
ベースと連携

- ナショナルデータベースの整備
- 医療機関でのオーダリング・カルテの電子化の進展
- 個人のEHRの進展

特に、医学・薬学研究の戦略（産学官のコンソーシアム）

レセプト・DPC

電子カルテ

レセプトのナショナル
データベースの活用

大規模データ拠点の
整備（全国）
※ 拠点でレセプトの原情報とカルテ由来情報を結合して利用

その他の保健
統計の活用

全国ネットワーク化
／地域での連携

電子カルテ由来情報を含むデータベースの活用⁶

短期
1～2年

中期
5年

長期
10年

中期的な人材育成とインフラ整備の展開イメージ

- 米国等では、医療従事者や研究者が、患者の協力を得て、薬剤疫学的手法によりレセプトや診療記録データベース等を解析。医薬品等のリスクを見つけ出す調査が進展し、安全対策に活用。
- 我が国は研究者も少なく大幅な遅れをとっており、承認審査の迅速化及び新薬等研究開発の推進も含めた調査・研究を支援する基盤整備が急務。

安全性向上のための薬剤疫学調査の支援

